

広島市植物公園内に自生する 維管束植物について (2)

北本照子*・一橋賢三*・在岡郁雄・井上尚子

はじめに

園内における自生植物の調査報告としては青山・橋本(1983)があり、9科28種のシダ植物、44科107種の本木植物、59科290種の草本植物を報告しているが、その後、20年以上経過して状況は大きく変化している。そこで、現在園内に自生している植物相を把握し、今後の植栽・展示計画の参考にすることを目的に、まず、草本植物とシダ植物について2005年5月から2007年12月にかけて調査し、本誌29号(2008)にまとめた。続いて今回は自生木本植物について調査した結果を記録する。

2008年12月から2009年12月にかけて、下刈除草は年に1回以下で比較的自然な植生が保たれている区域を中心として出現種を記録した。このとき、調査地は便宜上、A～Hの8つの区に分け(図、表)、場所ごとに記録し、目録にした。次に、区域外で確認した種を加え、「広島市植物公園内の自生維管束植物目録(2)」とした。

尚、調査したのは主として落葉期で標本作成に不向きであったこと、個体数が少なく標本にすると絶えると思われるものがあったこと、木本植物は寿命が長いので標本作製は後回しにできると考えたことなどから、今回は標本の作製は割愛した。

調査結果及び考察

今回、植物公園内における自生木本植物として、54科151種を確認した。このうち、広島市佐伯区周辺に自生の記録がない種(逸出とした)は24種(参考:広島県植物誌1997など)、広島市周辺に自生の記録があるが、植栽由来の可能性もある種(逸出?)は42種あった。ケヤキについては広島市周辺に自生の記録があるが、植栽株の付近に生え、それ以外の区域には無かったので「逸出」と判断した。

今回確認した151種を青山・橋本(1983)と比べると、91種が共通種、15種が前回確認されたが今回確認されなかった種、60種が今回初めて確認された種であった。

前回報告されたものと共通の91種には、コバノミツバツツジ、シャシャンボ、ネズなど、広島市沿

岸部のアカマツ二次林でよく見られる種や、ツブラジイ、タブノキ、ヤブツバキなど、広島市沿岸部の照葉樹林で見られる種が多く含まれた。

前回確認されたが今回確認されなかった種は次の15種である:クヌギ、コアカソ、ヤシヤブシ、マツグミ、ヒノキバヤドリギ、クサギ、ネコヤナギ、イタビカズラ、エビヅル、シキミ、クマイチゴ、タカノツメ、ニワトコ、ツクバネウツギ、ヤブウツギ。このうちクヌギは標本を再確認した結果、アベマキであった。比較的湿潤な環境や、谷沿いなどに自生するコアカソ、ニワトコ、ヤブウツギ、ネコヤナギは、周辺の植物が茂ってきて暗くなったり、整備が進んで伐採されたりして、無くなったと思われる。その他の種については、再発見される可能性もあるので、今後注意してみたい。

今回初めて確認された60種の中には逸出種が22種(逸出の可能性のあるものを含めると全種)と、多数確認された。前回との共通種91種のうち逸出と考えられるのは、里地の周辺に植栽されることが多かったスギ、ヒノキ、カキノキ、センリョウ、オオバヤシヤブシ、ヒメヤシヤブシ、ヤマモモの7種しか含まれないことと比べると、非常に多い(センリョウとヤマモモは本来の自生植物由来の可能性もある)。前回の調査時は開園後7年目で植栽個体からの自然繁殖はほとんどなかったのに比べ、それらが成長した現在は実をつける個体が増え、逸出種が増加したと考えられる。逸出種の生育はその場所の植栽環境やその種の増殖・生育特性を知る手掛かりを与えてくれるが、植栽展示の混乱をもたらす危険性があるので、注意が必要である。

今回目録にはあげなかったが、園路から少し離れた藪の中で、一見自生のように見えるミズメ、アオモジ、イヌガシ、コウヤマキ、アキニレ、シラカシの生育を確認した。個体の大きさ、周辺の植栽との関連などから推察すると、古い植栽であることが疑われた。今後、過去の植栽記録を探して、その実態を明らかにしたい。

今回得られた情報を基にした自生の木本植物の展示や教材としての活用については、今後の課題である。

最後に、調査にご協力いただいた植物公園ガイドボランティア有志(椋田裕子氏、坂本俊弘氏、池下宏氏、北野孝幸氏、故 門村逸喜氏。順不同。)に御礼申し上げます。

* 植物公園ガイドボランティア

引用文献

青山幹男・橋本清美 1983. 広島市植物公園の植物相と植生. 広島市植物公園紀要第6号:75-89.
 広島大学理学部附属宮島自然植物実験所・比婆科学教育振興会 編 1997. 広島県植物誌. 832pp. 中国新聞社, 広島県広島市.

大橋広好・邑田仁・岩槻邦男編 2008. 新牧野日本植物図鑑. 1458pp. 北隆館, 東京.
 小学館・八坂書房編 1988-1990. 園芸植物大事典1~6. 小学館, 東京.

表. 調査区域の概略

調査区域	概略
A	日本庭園の谷の東向き斜面と、茶室奥の谷の周辺。土壌環境は比較的湿潤。二つの谷の間の乾燥気味の尾根も含む。
B	日本庭園奥から樹林観察園上部にかけての乾燥した尾根沿い。
C	低木層が茂げているが、ミズメやシラカシなど、昔の植栽と推測される株が一見自生状態で生育している区域。北東～東向き斜面。
D	Cと類似の環境だが、昔の植栽が疑われる樹木があまり見られない区域。
E	低木層が茂げているが、ダンコウバイやタラヨウなど、昔の植栽と推測される株が一見自生状態で生育している区域。北東～東向き斜面。
F	日本庭園の谷の西向き斜面とその上部の尾根周辺。
G	食堂裏の急な西向き斜面。
H	針葉樹植栽区の西に隣接する西向き斜面。

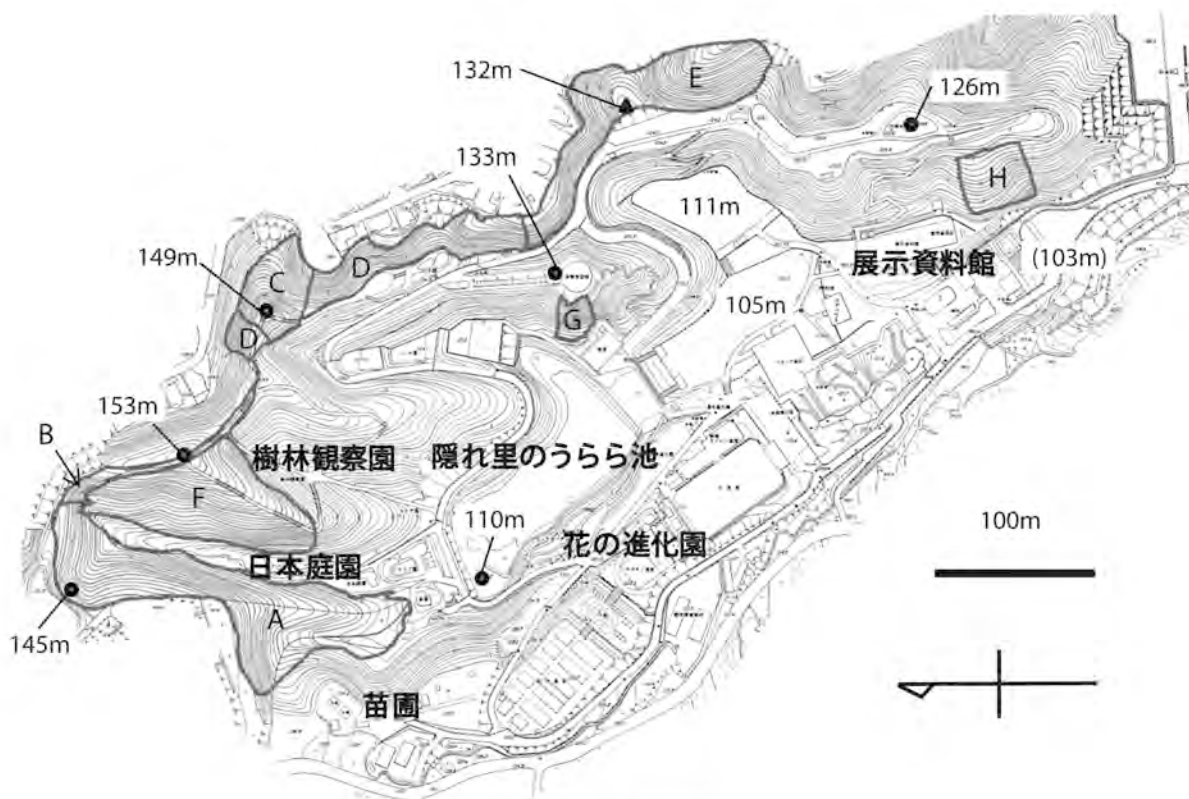


図 調査地の位置
 (地図内の数字は海拔高度、横線の上の数字は距離)

広島市植物公園内の自生維管束植物目録（２） ～木本植物～

広島市植物公園内に自生する木本類の目録を、以下の凡例にしたがって作成した。

1. 学名、和名及び科・属・種の配列は『広島県植物誌』（1997）に準拠したが、一部、園芸植物大事典1～6（1988～1990）、新牧野日本植物図鑑（2008）を参照したものがある。
2. 青山・橋本（1983）の目録にないものには、和名の後に「新」を付記した。
3. 広島市周辺で自生の記録がないものには、「逸出」を付記した。
4. 広島市周辺で自生の記録があるが、植栽株由来のものである可能性もある場合、「逸出？」を付記した。
5. 次行に当該種の確認区域をアルファベットで示した（図、表参照）。図にしめた区域外で確認した種については、その場所の概略を説明した。

SPERMATOPHYTA 種子植物

GYMNOSPERMAE 裸子植物亜門

Ginkgoaceae イチョウ科

Ginkgo biloba Linn. イチョウ 新 逸出
E

Pinaceae マツ科

Pinus densiflora Sieb. et Zucc. アカマツ
A～F, H

Taxodiaceae スギ科

Cryptomeria japonica (Linn. fil.) D. Don var. *japonica* スギ 逸出
A, F

Cupressaceae ヒノキ科

Chamaecyparis obtusa (Sieb. et Zucc.) Sieb. et Zucc. ヒノキ 逸出
A, F

Juniperus rigida Sieb. et Zucc. ネズ
A～F, H

Podocarpaceae マキ科

Podocarpus macrophyllus (Thunb.) Lamb. イヌマキ 新 逸出？
A, E, H

Taxaceae イチイ科

Torreya nucifera (Linn.) Sieb. et Zucc. var. *nucifera* カヤ 新 逸出？
H

ANGIOSPERMAE 被子植物亜門

DICOTYLEDONEAE 双子葉植物綱

CHORIPETALAE 離弁花亜綱

Myricaceae ヤマモモ科 ヤマモモ 逸出？

Myrica rubra Sieb. et Zucc.
D, E

Betulaceae カバノキ科

Alnus pendula Matsum. ヒメヤシャブシ 逸出
B, D, E, F, G

Alnus sieboldiana Matsum. オオバヤシャブシ 逸出
A, C, D

Carpinus laxiflora (Sieb. et Zucc.) Blume アカシデ
A, C, F

Fagaceae ブナ科

Castanea crenata Sieb. et Zucc. クリ
A～F, H

Castanopsis cuspidata (Thunb.) Schottky var. *cuspidata* ツブラジイ
A～H

Lithocarpus edulis (Makino) Nakai マテバシイ 新 逸出

C, D

Lithocarpus glabra (Thunb.) Nakai シリブカガシ 新 逸出?

D, E

Quercus glauca Thunb. アラカシ

A~H

Quercus phillyraeoides A. Gray ウバメガシ 新 逸出?

C, D, E, G

Quercus salicina Blume ウラジロガシ 新 逸出?

A, C, E

Quercus serrata Thunb. コナラ

A~H

Quercus variabilis Blume アベマキ

A, B, D~G

Ulmaceae ニレ科

Celtis sinensis Pers. var. *japonica* (Planch.) Nakai エノキ

A, E, F, G

Zelkova serrata (Thunb.) Makino ケヤキ 新 逸出

E

広島市周辺にも自生はあるが、園内では植栽株の付近に生え、明らかに逸出株であった。

Moraceae クワ科

Broussonetia kazinoki Sieb. ヒメコウゾ

F

青山・橋本(1983)はコウゾとして記載しているが、標本に花がなく、断定しにくい。

Ficus erecta Thunb. イヌビワ

A, E, F, G

Maclura tricuspidata Carriere ハリグワ 新 逸出

D

Morus australis Poir. ヤマグワ

E

Magnoliaceae モクレン科

Magnolia sp. モクレン sp. 新 逸出

F

Schisandraceae マツブサ科

Kadsura japonica (Thunb.) Dunal サネカズラ

A, B, E, F

Lauraceae クスノキ科

Actinodaphne lancifolia (Sieb. et Zucc.) Meisn. カゴノキ 新 逸出?

A, E, F

Cinnamomum camphora (Linn.) Sieb. クスノキ

A~H

Cinnamomum japonicum Sieb. ex Nakai ヤブニツケイ

A, B, D~G

Laurus nobilis L. ゲツケイジュ 新 逸出

E

Lindera glauca (Sieb. et Zucc.) Blume ヤマコウバシ 新 逸出?

E

Lindera strychnifolia (Sieb. et Zucc.) Fern.-Vill. テンダイウヤク 新 逸出

E

Lindera umbellata Thunb. クロモジ

A, E, F

Machilus thunbergii Sieb. et Zucc. シロダモ

A~F, H

Parabenzoïn trilobum (Sieb. et Zucc.) Nakai

A, B, C, E, F, H

Berberidaceae メギ科

Nandina domestica Thunb. ナンテン 新 逸出?

A~H

- Mahonia japonica* (Thunb.) DC. ヒイラギナンテン 新 逸出
A, C~G
- Lardizabalaceae アケビ科
- Akebia trifoliata* (Thunb.) Koidz. ミツバアケビ
A, C~H
- Stauntonia hexaphylla* (Thunb.) Decaisne ムベ 新
A, E, F, H
- Menispermaceae ツツラフジ科
- Cocculus orbiculatus* (Linn.) Forman アオツツラフジ
A, B
- Chloranthaceae センリョウ科
- Sarcandra glaber* (Thunb.) Nakai センリョウ 逸出?
A, E, F, H
- Aristolochiaceae ウマノスズクサ科
- Aristolochia debilis* Sieb. et Zucc. ウマノスズクサ 新 逸出?
E
- Theaceae ツバキ科
- Camellia japonica* Linn. ヤブツバキ
A, D, F, G
- Cleyera japonica* Thunb. サカキ 新 逸出?
A~F
- Eurya japonica* Thunb. ヒサカキ
A~H
- Ternstroemia gymnanthera* (Wight et Arn.) Bedd. モッコク 新 逸出?
A, C, E, F
- Thea sinensis* Linn. チャノキ 新 逸出
E
植物公園造成前からの逸出?
- Hypericaceae オトギリソウ科
- Hypericum patulum* Thunb. キンシバイ 新 逸出
うらら池横
- Hamamelidaceae マンサク科
- Liquidambar styraciflua* L. アメリカフウ 新 逸出
E
- Saxifragaceae ユキノシタ科
- Deutzia crenata* Sieb. et Zucc. ウツギ
B
- Hydrangea × amagiana* Makino アマギコアジサイ 新 逸出?
A
- Hydrangea hirta* (Thunb.) Sieb. コアジサイ
F
- Hydrangea luteo-venosa* Koidz. コガクウツギ
A, C, E, F, G
- Schizophragma hydrangeoides* Sieb. et Zucc. イワガラミ
A
- Rosaceae バラ科
- Amelanchier asiatica* (Sieb. et Zucc.) Endl. ザイフリボク
A~F, H
- Eriobotrya japonica* (Thunb.) Lindl. ビワ 新 逸出
A, E
- Photinia glabra* (Thunb.) Maxim. カナメモチ 新 逸出?
C, E
- Pourthiaea villosa* (Thunb.) Decne. var. *laevis* (Thunb.) Stapf カマツカ 新 逸出?
A, F
- Prunus grayana* Maxim. ウワミズザクラ 新 逸出?
B

- Prunus jamasakura* Sieb. ex Koidz. ヤマザクラ
A～H
- Prunus spinulosa* Sieb. et Zucc. リンボク 新 逸出?
B
下草刈り作業で調査後伐採されたと思われる。
- Raphiolepis umbellata* (Thunb.) Makino シャリンバイ 新 逸出?
C, G
- Rosa multiflora* Thunb. var. *multiflora*. ノイバラ
A
- Rosa onoei* Makino ? ヤブイバラ? 新 逸出?
うらら池横
標本を採集し、再確認の必要がある。
- Rubus buergeri* Miq. フユイチゴ
A, B, F
- Rubus corchorifolius* Linn. fil. ビロ-ドイチゴ
A, B, D, E, F, H
- Rubus hirsutus* Thunb. クサイチゴ
A, E, F
- Rubus microphyllus* Linn. fil. ニガイチゴ
うらら池横
- Rubus palmatus* Thunb. var. *palmatus* ナガバノモチジイチゴ
A, E, F
- Rubus parvifolius* Linn. ナワシロイチゴ
A, E, F
- Sorbus japonica* (Decne.) Hedl. ウラジロノキ
C
- Fabaceae マメ科
- Acacia dealbata* Link フサアカシア 新 逸出
D
- Albizia julibrissin* Durazz. ネムノキ
A
- Lespedeza cyrtobotrya* Miq. マルバハギ
B～F? (注1)
- Lespedeza homoloba* Nakai ツクシハギ
B～F? (注1)
青山・橋本(1983)はヤマハギとして記載しているが、標本を確認するとツクシハギであった。
- Robinia pseudoacacia* Linn. ハリエンジュ 新 逸出
D
- Wisteria brachybotrys* Sieb. et Zucc. ヤマフジ
A～G
- Wisteria floribunda* (Willd.) DC. フジ 新 逸出?
A, B, D, F
- Euphorbiaceae トウダイグサ科
- Mallotus japonicus* (Thunb.) Muell.-Arg. アカメガシワ
A～D, F, G
- Sapium sebiferum* (Linn.) Roxb. ナンキンハゼ 新 逸出
苗圃周辺
- Daphniphyllaceae ユズリハ科
- Daphniphyllum macropodum* Miq. var. *macropodum* ユズリハ 新 逸出?
A, E, F, H
- Daphniphyllum teijsmannii* Zoll. ヒメユズリハ 新 逸出?
A, B, E, F, H
- Rutaceae ミカン科
- Citrus* sp. ミカン sp. 新 逸出
C
- Zanthoxylum schinifolium* Sieb. et. Zucc. イヌザンショウ
A, C～F, H

- Simaroubaceae ニガキ科
Ailanthus altissima (Mill.) Swingle シンジュ 新 逸出
 C, D
- Anacardiaceae ウルシ科
Rhus javanica Linn. var. *roxburgii* (DC.) Rehd. et Wils. ヌルデ 新 逸出?
 A, B, E, F, H
Rhus sylvestris Sieb. et Zucc. ヤマハゼ
 A~E, G, H
Rhus trichocarpa Miq. ヤマウルシ
 A~H
- Aceraceae カエデ科
Acer crataegifolium Sieb. et Zucc. ウリカエデ
 F
Acer mono Maxim. var. *mono* イタヤカエデ 新 逸出
 進化園裏
Acer palmatum Thunb. var. *palmatum* イロハカエデ 新 逸出?
 F
Acer buergerianum Miq. トウカエデ 新 逸出
 E
- Aquifoliaceae モチノキ科
Ilex chinensis Sims ナナミノキ 新 逸出?
 A, E
Ilex crenata Thunb. var. *crenata* イヌツゲ
 A~H
Ilex latifolia Thunb. タラヨウ 新 逸出?
 E
Ilex macropoda Miq. アオハダ
 A, C~F
Ilex pedunculosa Miq. ソヨゴ
 A~F, H
Ilex rotunda Thunb. クロガネモチ 新 逸出?
 A, B, D, E, F, H
Ilex serrata Thunb. ウメモドキ 新 逸出?
 E
- Celastraceae ニシキギ科
Celastrus orbiculatus Thunb. ツルウメモドキ 新 逸出?
 A, F
Euonymus alatus (Thunb.) Sieb. f. *ciliato-dentatus* (Franch. et Savat.) Hiyama コマユミ
 E
Euonymus japonicus Thunb. マサキ 新 逸出?
 E
- Staphyleaceae ミツバウツギ科
Euscaphis japonica (Thunb.) Kanitz ゴンズイ
 A, E, F, G, H
- Rhamnaceae クロウメモドキ科
Frangula crenata (Sieb. et Zucc.) Miq. イソノキ
 A, F
- Vitaceae ブドウ科
Parthenocissus tricuspidata (Sieb. et Zucc.) Planch. ツタ
 E
- Malvaceae アオイ科
Hibiscus syriacus Linn. ムクゲ 新 逸出
 E
- Elaeagnaceae グミ科
Elaeagnus glabra Thunb. ツルグミ
 A, E

- Elaeagnus pungens* Thunb. ナワシログミ
A, D~G
- Cornaceae ミズキ科
- Aucuba japonica* Thunb. var. *japonica* アオキ 新 逸出?
A, E, F
- Cornus macrophylla* Wall. クマノミズキ 新 逸出?
E
- Araliaceae ウコギ科
- Acanthopanax sciadophylloides* Franch. et Savat. コシアブラ
A, B, C, E, H
- Aralia elata* (Miq.) Seemann var. *elata* タラノキ
A, D, E, F
- Dendropanax trifidus* (Thunb.) Makino カクレミノ
A~H
- Fatsia japonica* (Thunb.) Decne. et Planch. ヤツデ
A~H
- Hedera rhombea* (Miq.) Bean キツタ (フユツタ)
A, E, F, G
- Clethraceae リョウブ科
- Clethra barbinervis* Sieb. et Zucc. リョウブ
A, B, E, F, H
- Ericaceae ツツジ科
- Lyonia ovalifolia* (Wall.) Drude var. *elliptica* (Sieb. et Zucc.) Hand.-Mazz. ネジキ
A~H
- Pieris japonica* (Thunb.) D. Don アセビ
A~H
- Rhododendron kaempferi* Planch. var. *tubiflorum* Komatsu ヒメヤマツツジ
A~H
青山・橋本 (1983) はフジツツジとして記載しているが、広島県植物誌に準拠した。
- Rhododendron reticulatum* D. Don コパノミツバツツジ
A~H
- Rhododendron serpyllifolium* Miq. var. *albiflorum* Makino セトウチウンゼンツツジ
A, E
青山・橋本 (1983) はウンゼンツツジとして記載しているが、広島県植物誌に準拠した。
- Vaccinium brecteatum* Thunb. シャシャンボ
A~F, H
- Vaccinium oldhamii* Miq. ナツハゼ
A, B, D, E, F
- Vaccinium smallii* A. Gray var. *versicolor* (Koidz.) Yamazaki カンサイスノキ
A, B, F
- Myrsinaceae ヤブコウジ科
- Ardisia crenata* Sims マンリョウ
A~H
- Ardisia crispa* (Thunb.) DC. カラタチバナ 新 逸出?
A
- Ardisia japonica* (Thunb.) Blume ヤブコウジ
A~H
- Myrsine seguinii* H.Lev. (*Rapanea neriifolia* (Kanitz) Mez) タイミンタチバナ 新 逸出?
E
- Ebenaceae カキノキ科
- Diospyros kaki* Thunb. カキノキ 逸出
A, C, F
- Styracaceae エゴノキ科
- Styrax japonicus* Sieb. et Zucc. エゴノキ
A~H

Styrax obassia Sieb. et Zucc. ハクウンボク 新 逸出

F

Symplocaceae ハイノキ科

Symplocos glauca (Thunb.) Koidz. ミミズバイ 新 逸出?

A

Symplocos lucida Sieb. et Zucc. クロキ

A~H

Oleaceae モクセイ科

Ligustrum obtusifolium Sieb. et Zucc. イボタノキ 新 逸出?

E

Ligustrum japonicum Thunb. ネズミモチ

A~H

Osmanthus heterophyllus (G. Don) P.S. Green ヒイラギ 新 逸出?

A~H

Fraxinus sieboldiana Blume マルバアオダモ

A

Apocynaceae キョウチクトウ科

Trachelospermum asiaticum (Sieb. et Zucc.) Nakai テイカカズラ

A, B, D~G

Rubiaceae アカネ科

Gardenia jasminoides Ellis クチナシ

A, B, D, F, H

青山・橋本(1983)はコリンクチナシとして記載しているが、これをクチナシと区別しない広島県植物誌に準拠した。

Verbenaceae クマツツラ科

Callicarpa japonica Thunb. ムラサキシキブ

A, F

Callicarpa mollis Sieb. et Zucc. var. *mollis* ヤブムラサキ 新 逸出?

A, G

Caprifoliaceae スイカズラ科

Abelia serrata Sieb. et Zucc. コツクバネウツギ

A~D, F, H

Lonicera gracilipes Miq. var. *glandulosa* Maxim.

F

青山・橋本(1983)はヤマウグイスカグラとして記載しているが、標本の葉に腺毛を認めた

Lonicera japonica Thunb. スイカズラ

A, E, G

Viburnum erosum Thunb. var. *punctatum* Franch. et Savat. コパノガマズミ

A, F

Viburnum wrightii Miq. ミヤマガマズミ

A~H

Asteraceae キク科

Pertya scandens (Thunb.) Sch.-Bip. コウヤボウキ

A~H

MONOCOTYLEDONEAE 単子葉植物綱

Liliaceae コリ科

Smilax china Linn. サルトリイバラ

A~E, H

Palmae ヤシ科

Trachycarpus fortunei (Hook.) H. Wendl シュロ 新 逸出

A, G